

大野一心

NO.34

令和5年2月7日（火） 文責：校長 諸熊 修一

校長のひと一言

2月4日（土）5日（日）に男子ハンドボール部と女子ハンドボール部の子どもたちが、富山県で行われる全国大会に向けての旅費等の補助協力を呼び掛けるために街頭募金に立ちました。私も一緒に立たせてもらったのですが、小さなお子さんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、本当に多くの方々にご協力いただいたことに感動しました。



大野中学校の人たちも何名か通りかかり、募金に協力をしてくれた人もいました。小学生くらいの子もたちが自分のお小遣いの中から募金してくれた人もいました。中には大野中学校の卒業生だというご年配の方もいらっしゃって、募金と共に「頑張ってください」という一言や、自分もハンドボールをしていて、富山の大会に行ったことがあるという人もいらっしゃいました。ずっと寄ってきて微笑みながら募金に協力していただいた方、ギターを抱えた若い女性の方、杖を突かれたご高齢の方、お母さんに抱っこされた赤ちゃん、本当にたくさんの方々にご協力いただきました。私の知り合いも何人か通りかかり、半ば強引に（笑）募金に協力をしていただきました。

募金に協力していただいた一人一人のご厚意の温かさが、子どもたちの心にたくさんたくさん届いたことだと思います。「感謝」の気持ちを胸に、大会では思いっきり力を発揮して来て下さい。

「恩送り」ということばがあります。私は今度、街中で子どもたちの募金活動を見かけたら、一目散に駆けつけて募金に協力をしたいと思います。いただいた「恩」を次の方に送っていきたいと思います。

冬季の防寒着の着用について

1月24日（火）～2月3日（金）まで、臨時的に登下校中の制服の上から羽織るジャンパー等の防寒着を許可していました。今後も急激な寒さが予想されるときには、着用許可について連絡いたします。

着用については大きな混乱はなかったのですが、学生服を着ずにジャンパーだけ羽織っている生徒がいたり、校舎内で防寒着を脱がずに過ごしたりしている生徒もいました。そのようなルールについても、我々教師が上位下達で決まり事を決めるのはある意味簡単なのですが、生徒にも考えさせ生徒の自治活動を大事にして、生徒の自主性を育てていきたいと考えています。

防寒着の着用を自由に認めてほしいという声も上がってきています。決まり事（校則）を変えるのであれば、その決まり事のメリットやデメリット、守るべきルール等を考えさせながら決定していきたいと思っています。防寒着のみならず、校則の改正については、来週、生活心得のアンケートを実施し、生徒の意向を聴取します。その後、生徒会とも連携し、次年度実施する生徒総会において各学級で話し合いをさせていきたいと考えています。その話し合いの結果を受けて、職員会で協議・検討を行っていきます。

